

モデル事業名	元気な高齢者がつくる地域の元気 一里山・里地を活かしたシニアアクションスクールの開校へ
テーマ・コース	県テーマ D. 協働事業の検討・活動基盤整備
事業実施主体名	南房総体験活動ネットワーク協議会（館山市、鴨川市、南房総市、鋸南町）
実施期間	平成23年8月17日～平成24年3月26日
補助額	2,991,900 円
円卓会議の取組状況	※ 構成員、開催日、参加者数、議事概要等について記載してください 構成員：NPO 法人たてやま海辺の鑑定団、NPO 法人大山千枚田保存会、鴨川市総合交流ターミナル 鴨川市、館山市、南房総市、鋸南町、NPO 法人千葉自然学校 「第1回円卓会議」 開催日：9月28日（水） 参加者：11名 議事：（1）平成23年度連携・協働による地域課題解決モデル事業「シニアアクションスクールの開校へ」の趣旨説明 （2）事業の進め方について （3）「マルチ・ステークホルダー・プロセス」について 「第2回円卓会議」 開催日：10月31日（月） 参加者：6名 議事：（1）「シニアアクションスクール」について（案） （2）高齢者の意向調査について（案）
事業概要	元気な高齢者が生甲斐を持って暮らし、地域の元気を応援し、超高齢社会が豊かで活力ある社会となることを目指して、連携し、能力を活かして行動できる高齢者の育成とその人材を地域の活性化に活用する仕組みと場をつくる「シニアアクションスクール（仮称）」を立ち上げる。 1年目：◆「シニアアクションスクール」の構想づくり（事業1） ◆高齢者の意向調査の実施（事業2） ◆「シニアアクションスクール」体験講座の開催（事業3） 2年目：◆「シニアアクションスクール」の開校・運営 ◆人材活用の場づくり・仕組みづくり ◆効果の測定方法の検討と効果の測定
事業内容	事業内容、実施事項、実施方法 ※ 「誰（何）を対象に」「いつ」「どこで」「何をしたのか」、時系列で具体的に記載してください。 「事業1」◆「シニアアクションスクール」の構想づくり 「事業2」◆高齢者の意向調査の実施 作業部会開催 9月7日 千葉自然学校千葉事務所 ・ シニアアクションスクール「シニア自然大学」について（案）

	<p>(運営携帯、連携団体、アクションスクールの概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者の意向調査項目の検討 <p>9月28日 千葉自然学校千葉事務所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ シニアアクションスクール「シニア自然大学」(案) <p>(運営形態、連携団体、アクションスクールの概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者の意向調査項目の検討 <p>10月6日 千葉自然学校千葉事務所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「シニア自然大学」カリキュラムについて(案) ・ 高齢者の意向調査項目の検討 <p>10月14日 千葉自然学校千葉事務所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「シニア自然大学」カリキュラムについて(案) ・ 高齢者の意向調査用紙の検討 <p>10月17日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「シニア自然大学」カリキュラムについて(案) ・ 高齢者の意向調査用紙の検討 <p>「事業3」◆シニアアクションスクール」体験講座の開催 作業部会開催</p> <p>10月26日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 体験講座について <p>関係団体との調整</p> <p>9月16日 千葉県立中央博物館</p> <p>9月21日 館山・南房総市行政・団体調整</p> <p>9月22日 保健医療大学、鴨川市行政・団体調整</p> <p>10月6日 千葉大学</p> <p>10月18日 谷当工房、房総のむら</p> <p>10月19日 印旛漁協、佐倉みどりネット</p>
<p>ステークホルダーの巻き込み状況</p>	<p>※ 円卓会議の構成員を含め、現時点で巻き込んでいる主体を記載してください。 NPO法人たてやま海辺の鑑定団、NPO法人大山千枚田保存会、NPO法人ちば農業ネットワーク、千葉自然学校ネットワーク、千葉県中央博物館、鴨川市農林業体験交流協会、千葉大学、鴨川市、館山市、南房総市、鋸南町、</p> <p>※ 今後、巻き込んでいきたい主体(または、当初予定していたが現時点で巻き込めていない主体)を記載してください。</p> <p>都市部の行政・企業、まちづくり・子育て・福祉関係のNPO等</p> <p>また、現在かかわっている行政は観光関係課が中心であるが、シニアの活躍できる受け皿づくりのためには、行政内での課を越えた情報収集と協力が必要になってくる。この点については円卓会議等で話し合っけてゆきたい。</p>
<p>今後の課題</p>	<p>※ 今後事業を進めていくにあたって、運営上又は事業実施上の課題等を記載してください。</p> <p>本事業は、当面、千葉市、習志野市等の都市部の高齢者を対象に人材育成をし、過疎高齢地域である南房総地域をモデル地域として活躍の場づくり、仕組みづくりをするものであるが、将来的には都市部における地域活性化にも活躍できることを目指している。</p> <p>このため、円卓会議は各地域や目的別に数多く開き、それを総括して事業推進に活かしてゆく仕組みですすめて行くことを考えている。</p>